

女性が考える

Lookルック防災

VOL. 2 アンケートから
みえる防災意識



防災ルックちゃん
災害を経験したことで、防災について学び始めた女の子。大きな
目で気になるところを「LOOK」する。日頃から防災ヘルメット、
防災チョッキ、防災リュックを身に着け災害に備えている。

東日本台風の経験を今後の復旧・復興、防災対策に最大限活かそうと、市では住宅被害を受けた約 2,000 世帯を対象にアンケートを行いました。アンケート結果から、「ひとりひとりがハザードマップを正しく理解し、災害の種類に応じて適切な避難所の選択や避難のタイミング、避難行動の確認をしておくほか、防災気象情報や避難の呼びかけに迅速に対応する」ことが重要としています。

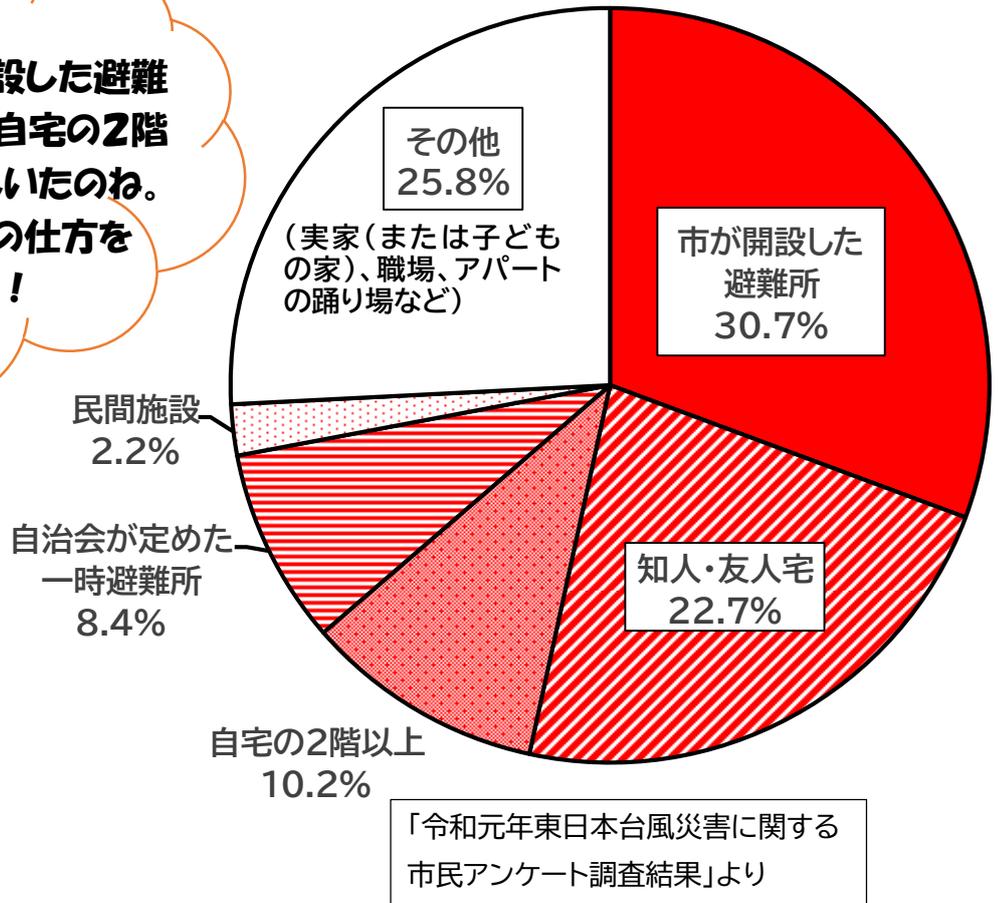
今号では、アンケート結果の一部を紹介します。

「令和元年東日本台風災害に関する市民アンケート」
を詳しくご覧になりたい方はこちらから→



◆ あなたが避難した場所はどこですか？

3割の人が、市が開設した避難所に避難したほか、自宅の2階に垂直避難した人もいたのね。状況によっては避難の仕方を考える必要があるね！



ちょこっとコラム②

「体調が悪い場合、どこの避難所に行ったらいいの？」

「熱やせきがあって、避難所に行くと他の人にうつしてしまうかも。…でも知人や親戚の家や車中避難は難しいなあ。」と避難することに不安を感じることもあるかもしれません。特に今は新型コロナウイルス感染症の拡大防止が求められています。そんな不安を感じる方が災害時にためらうことなく避難できるよう、佐野市では体調不良の方専用の避難所を次の4箇所に指定しました。

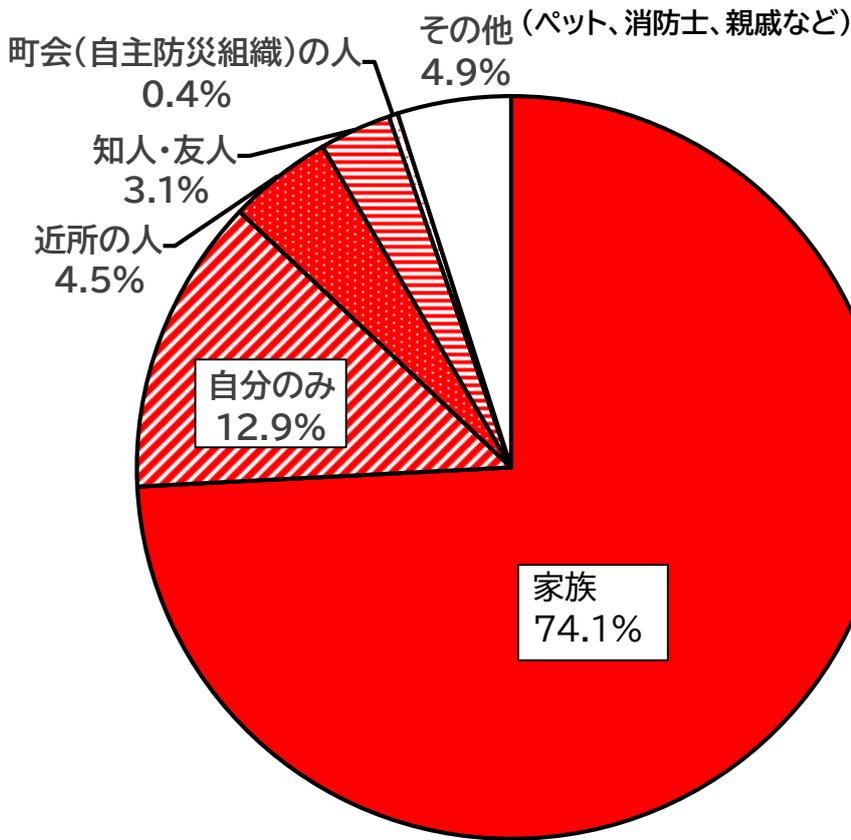
災害時に命の危険があるときは、ためらうことなく避難しましょう！

【体調不良の方専用の避難所】

- ・城北地区公民館
- ・赤見地区公民館
- ・田沼地区公民館
- ・葛生地区公民館



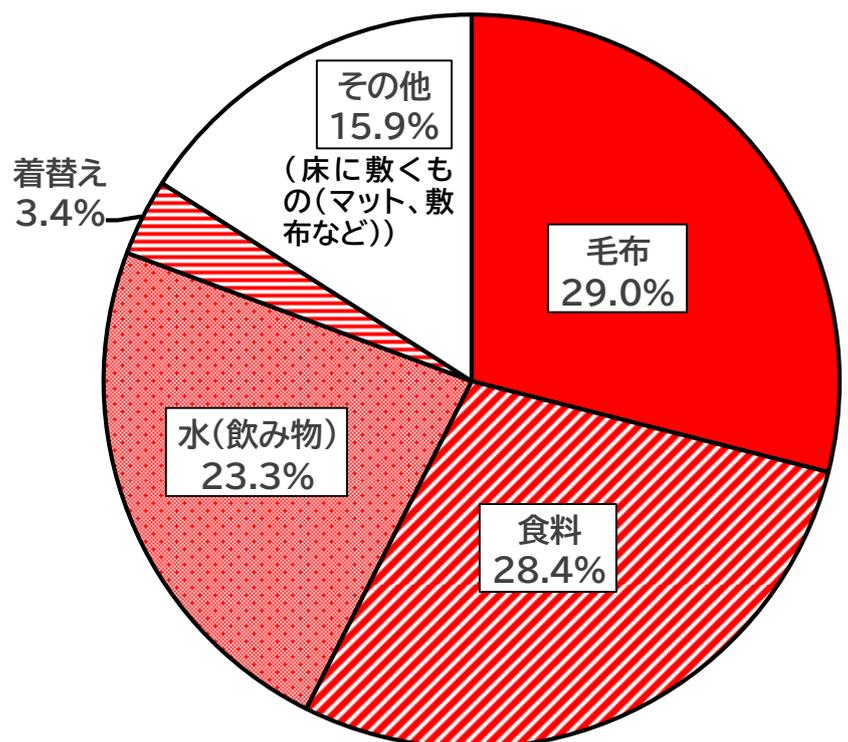
◆ あなたは、誰と避難しましたか？



いざという時のために、
自分と家族が「いつ」「どこで」「誰が」「何を」「どのように」しておくのか、事前に話し合い避難計画(マイ・タイムライン)を作っておきましょう。

◆ 避難してどんな物資があるといいと思いましたか？

多かったのが食料や水(飲み物)でした。
いざという時のために日頃から備えておきましょう。





ペットボトル(水)が大活躍!



保冷剤として!

- そのままで→
 - ①飲料水として使用します
(大人1人あたり、1日に500ml、2~3本が目安です)
 - ②救急用品として断水の際に傷の清浄や、やけどを冷やします
 - ③断水時、簡易水道として使用します
 - ④下からライトを当てて、広範囲を明るく照らします



ライトとして!



器として!

- 凍らせて→保冷剤として使用します
- 暖めて→湯たんぽとして使用します
- ボトルは→食器として使用します
(加工した際の切り口に注意しましょう。またラップをかけるなど衛生面に気をつけて使用しましょう。)

おいしく食べよう! 非常食レシピ①



◎ツナとわかめのあえもの◎

【材料 2人分】

- ☆ツナ缶…1缶
- ・たまねぎ…1/6 個
- ☆カットわかめ…大さじ 1
- ☆水…50ml
- ☆かつおぶし…少々
- ・しょうゆ…小さじ 1/2
- ☆…非常食として保管できます

【作り方】

- ①カットわかめを分量の水につけてもどす。
- ②たまねぎは薄切りにする。
- ③ツナ、わかめ、たまねぎを和え、かつおぶしとしょうゆで味付けする。

ポイント①
火がなくて
もできるよ!

ポイント②
ほかの缶詰
でもおいし
くできるよ!

ポイント③
賞味期限の
近づいた
備蓄品から
使いましょう!

女性が考える LOOK ルック防災 VOL. 2 【2021年3月発行】

◆編集発行 佐野市市民生活部人権・男女共同参画課

〒327-0398 佐野市田沼町 974-3

TEL.0283-61-1140 fax.0283-61-1142

E-mail danjokakari@city.sano.lg.jp

◆協力 永倉文子 (防災士)、永島典子 (防災士)、小菅慶子 (イラスト)



↑過去のナンバー
はこちらから